



今年を振り返り、次の挑戦につなげる



校長 大野 郁子

師走を迎え、今年一年を振り返る季節となりました。子どもたちには、年度当初から、「目標を明確にもち、常に意識することの大切さ」について話をしてきました。目標は、努力の方向を示す道標です。小さな目標でも、自分で決めて取り組むことで、達成したときの喜びや自信につながります。しかし、目標に向かう過程では、思うようにいかないこともあります。そこで必要なのが「振り返り」です。うまくいったこと、うまくいかなかったことを見つめ直すことで、次の一步が見えてきます。失敗は決して終わりではなく、成長のための大切な材料です。

2学期に、6年生がキャリア教育で、様々な体験活動をしたり、様々な方から人生の体験をお聴きしたりしました。その中に、次のような言葉がありました。

「失敗はチャンス」(ほなりがま) (国上で穂生窯を営んでいる井村詩帆さんと廣兼史さんの言葉)

ひろかねふみ

失敗した時は、どうしてだろうと原因を考え、それを乗り越える工夫をする。そして成功した時ほど、喜びが大きい。だから失敗した時は、チャンスだと思う。焼き物は難しいけれど、楽しい。楽しい気持ちがあると難しいことも乗り越えられる。



「日記を書く」(かいしゅう) (世界的に活躍する書・篆刻作家の柳澤魁秀さんの言葉)

目標を明確にもち、日々振り返りをする。そして、次にどうやつたらいいか考える。この積み重ねが自分を伸ばす。そのためには、日記を書くことが大切。



どちらも前向きに挑戦してこられた人だからこそその言葉です。私は、子どもたちが「失敗を恐れず挑戦すること」と、大人は「子どもが安心して挑戦できる環境をつくること」が大切だと思います。今年を振り返り、新しい年に向けて、一人一人が自分の道標となる目標を立て、前向きに歩み続けていくことを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年一年の温かいご支援に心より感謝申し上げます。2026年が皆様にとって良い年でありますように。